

東浦中学校・東浦文化広場基本構想（案）

1 趣旨

東浦町公共施設再配置計画におけるモデル事業として位置付ける東浦中学校・東浦文化広場について、施設整備に向け、施設の基本的な考え方、整備場所（敷地）、導入機能等を検討する「東浦中学校・東浦文化広場基本構想」を策定するにあたり、広く皆様からの意見を募集します。

2 目的及び背景

〈目的〉

東浦中学校・東浦文化広場基本構想は、施設整備に向け、施設の基本的な考え方、整備場所（敷地）、導入機能などを検討するものです。

〈背景〉

東浦町が所有する公共施設の多くは、1970年代から1980年代にかけて集中的に建設されたものです。これらの公共施設は、現在では老朽化が進んでおり、今後一斉に更新時期を迎え、多額の費用が必要になることが見込まれます。

加えて、人口減少や少子高齢化による人口構造の変化等、社会環境が変化する中、財政状況も今後一層厳しくなる見通しであり、現在の公共施設を今後、そのまま維持することは非常に困難な状況下にあります。

このような背景を受け、本町では、2024年3月に東浦町公共施設再配置計画を策定し、施設ごとに現状の課題や今後のあり方を検討し、施設更新・複合化・集約化等の方向性を含む公共施設再編の基本的な方針を示しています。また、再配置計画では、東浦中学校・東浦文化広場複合施設を公共施設の再編を推進するにあたり先導的に取り組むモデル事業として位置付けています。

3 実施機関の考え方

東浦町公共施設再配置計画に基づく公共施設の再編では、文化センターをはじめとした社会教育施設や子育て支援センターをはじめとした各種支援センターを複合化・集約化し、現在の東浦中学校及び周辺敷地へ整備する方向性であり、東浦中学校の移転が求められます。また、現在の東浦中学校においては、学区における課題や災害ハザードの観点からも移転を検討しており、移転候補地を東浦文化広場敷地としたうえで、東浦中学校と東浦文化広場の複合化を検討することとしています。